

◆ 研究分野	・ウイルス学(レトロウイルス)
◆ キーワード	・牛白血病ウイルス ・クローニング ・感染制御
◆ 産業界での応用の可能性等	・牛白血病ウイルスの感染制御への応用
◆ 共同研究・受託研究可能なテーマ	・ウイルス感染実験 ・血中抗体価測定 ・ウイルスロード測定
◆ 利用可能な設備・機器等(共用機器も可)	・P2レベルの実験室 ・サーマルサイクラー ・Real-Time PCR 装置 ・シーケンサー ・プレートリーダー ・細胞培養装置一式
◆ 関連の知的財産等	なし
◆ 所属学会	・日本獣医学会

研究紹介 (概要)

牛白血病ウイルスの感染制御に関する研究

牛白血病は近年、発生件数が増加傾向であることから今後もその発生数は増加することが懸念されている。この牛白血病の多くは牛白血病ウイルス(BLV)の感染に起因しており、ウイルスの感染制御を今後行っていくことが牛白血病の発生頭数を減少させるために非常に重要である。

BLVの感染制御において血中の抗BLV抗体量が感染防御に重要であることが報告されている。しかし、感染後ではその血中抗体価が高くてもウイルスを排除できず、持続感染するため、感染後のウイルス排除は非常に困難である。そこで本研究では、ウイルス産生量や持続感染に関与する要因を探索するために、ウイルスのクローニングを行い、そのウイルス産生量等の解析を行う。

さらにそれらを用いて、ウイルス複製や病態に関連する宿主因子を解明することにより、ウイルスと宿主側の両要因を検索する。これらの基礎的な知見からウイルス感染を促進および抑制させる因子を解明し、ウイルスの感染制御に役立つ知見を探索する。

社会、産業界へのPR

現在、感染制御できていない BLV の制御方法を検討するため、ウイルスおよび宿主側の性状を詳細に解析する。これらにより得られた基礎的知見を基に、BLV 感染制御法の確立を目指す。

職名	助教		
氏名	村上 裕信		
ローマ字	Hironobu Murakami	学位	獣医学博士
所属学部等	獣医学部	所属学科等	獣医学科
所属研究室等	衛生学第二研究室	URL	http://www.azabu-u.ac.jp/lab/vv/vv_020.html